

キャラクター名
御堂 海瑠

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	暗殺者	カヴァー	高校生
	オルクス					
オプション	年齢		18	性別		男
覚醒	渴望	衝動	憎悪		初期侵食率	35%
出自	資産家		経験	約束	邂逅	契約

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	15
感覚	3	1	3			7	(非装備時)	15
精神	1	0	0			1	戦闘移動	20
社会	3	0	0			3	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	6		RC			交渉		
回避			知覚			意志			調達		
運転:	2		芸術:			知識:	2		情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
Gjakmarrja	射撃	9r+6		4		コスト4/C値8(7)/単体/装甲有効/D10+4(5)
Gjakmarrja 100↑	射撃	10r+6		5		コスト4/C値8(7)/単体/装甲有効/D10+4(5)
沈黙の掟	射撃	9r+8		4		コスト7/C値8(7)/単体/装甲無視/D10+4(5)
沈黙の掟 100↑	射撃	10r+10		5		コスト7/C値8(7)/単体/装甲無視/D10+4(5)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
奇妙な隣人	P	N		
「無題」	P 傾倒	N 隔意		
月舟 イチヨ	P 友情	N 不安		
違法拳銃	P 執着	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセプト:モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-	シンドローム	
効果: C値-Lv								
オリジン:プラント	1	2	マイナー	至近	自身	自動成功		
効果: 感覚達成値+Lv×2								
ハンドレッドガンズ	3	3	マイナー	至近	自身	自動成功		
効果: 武器作成 攻撃力+Lv+4								
カスタマイズ:射撃	2	2	メジャー	武器	-	対決		
効果: 判定+Lvd								
ペネトレイト	★	3	メジャー	武器	-	対決		
効果: 装甲無視 ダイス-1d								
ストライクモード	3	6	メジャー	-	単体	対決	シンドローム・80↑	
効果: ダメージ+LvD、使用后武器破壊								
オーバーロード	★	3	オートアクション	至近	自身	-	80↑	
効果: 攻撃力+使用している武器の攻撃力、使用后武器破壊								
壁抜け	★							
効果:								
地獄耳	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

みどう かいる
 *命には命を、目には目を、鼻には鼻を、耳には耳を、歯には歯を、全ての傷害に同じ報復を”
 親友を亡くしてから復讐に生きるようになった青年。
 親友を傷つけた仇を探していたがレネゲイド能力に一切適性がなかったためオーヴァードに関わることができず徒勞に終わる。
 それでもあきらめきれず、仇を殺すことだけを考へて学生生活をつづけながらも私的な時間は全て捜索に当て、違法拳銃とともに路地裏に身を沈めてきた。
 本来は明るく穏やかな性格だったが、現在は静かに燃える殺意の塊であり、目的のためなら殺人もいとわない。
 本来適性のない人間はオーヴァード覚醒の際に死亡、またはジャーム化し死に至るはずなのだが…?

”俺の憎悪ごとすべて持っていけ 全て塵にするまで止まれないと思え”
 自らがお守りに持っていた違法拳銃をベースに拳銃を作り出して使用する。
 ”奇妙な隣人”の手助けによって力をコントロールしていることに加え、衝動でもある憎悪の感情が強すぎるため一度弾丸を放てば武器が攻撃に耐えきれずつぶれてしまう。
 その性質上本人の身体には過剰な負担がかかり、戦闘すればするほど血と砂を吐き感情は憎悪に浸食され心身ともにボロボロになってしまうが本人はそれすら”是”とするだろう。彼の力への渴望は、ただひたすら仇の息の根を止める瞬間のためだけに存在するのだから。
 ○○○○
 レネゲイドビーイング『無題』
 オリジン:プラントの協力型RB。未完成のまま放置された物語たちが本の姿をとったもの。紙媒体であるからか、未完結の草稿やメモなども含むらしく個としての意識は薄い。
 自らが完成しなかった作品のためか失った「結末」を求めて人間に寄生をし、その人生を代償に奇妙な隣人として力を与えている。